

佐藤寛氏が、本会合の前日に行われた『Pre-HLF4 Conference: Toward a Global Compact for Development Effectiveness』について、研究発表における韓国や中国の研究者の積極的な主張や姿勢についてコメントする一方、東アジア各国との関係や研究者ネットワークをさらに強化し、情報発信力を強化することが、我が国の研究成果を発信していく上で重要であることを強調しました。

JICA研究所の細野昭雄所長から、今会合全体の評価についての発表を行い、今会合のポイントの一つとして、参加国・国際機関等関係者の、南南協力・三角協力に対する関心の高さを挙げました。合意した成果文書でも協力の重要性について確認されているテーマでもあります。JICA研究所でも研究事案として取り組んでいるテーマであることから、今後も南南協力・三角協力の効果的な推進に積極的に貢献していくと結びました。

関連記事：

[GDN-Japanが釜山HLFの成果と今後の展望をテーマにセミナーを開催（12月9日）](#)

[開発援助アプローチの足跡：開発思想を再考するセミナーを開催（12月15日）](#)



【news etc.】

▼GDN-Japan第23回ネットワーク会合報告

10月28日、GDN-Japanのハブ機関を担っているJICA研究所において、第23回GDN-Japanネットワーク会合が開かれました。

当日の主な議題は、

- ① GDN-Japan事務局の人事変更報告
- ② GDN地域ネットワーク会合報告
- ③ GDN理事会報告

①について、GDN-Japan事務局ヘッドが、小中鉄雄氏の異動に伴い、島田剛氏（JICA研究所企画課課長）に変更の旨、報告がありました。②について、6月にクロアチア・ドブロブニクで開かれた会合に参加した小中鉄雄氏から、現地で発表されたGDN本部策定の2011年-2016年ビジネスプランの内容について報告がありました。③について、GDN新理事長としてアラン・ウィンターズ氏（GDN理事、英国サセックス大学教授、元世界銀行開発研究グループ局長）の紹介や、次回年次会合における進捗報告がありました。



▼2011年国際開発賞コンペティションへの応募期限が間近に

毎回、様々な地域から参加者が集まる国際開発賞コンペティション。来年夏にハンガリー・ブタペストで開かれる年次会合で受賞者が決まる、2011年国際開発賞の応募期限が間近となっています。応募締切りは、2012年1月31日。

[国際開発賞概要](#)

[応募詳細](#)



▽次回は2012年2月下旬に配信予定です。

▽ご意見、ご感想などをお聞かせください。

dritrn-gdn-japan@jica.go.jp

▽お問い合わせ、配信先の変更・解除はこちらまでお願いいたします。

dritrn-gdn-japan@jica.go.jp



発行 : GDN—Japan事務局 (JICA研究所 企画課内)

制作 : JICA研究所 企画課 編集・発信ユニット

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5 JICA研究所内

<http://www.jica.go.jp/gdn/japanese/index.html>